



あけましておめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。



今年試してほしい漢方薬

(89) 治打撲一方 (ちだぼくいっほう)



打撲はもちろん、外傷性の痛み、腫れに使います。
打撲を放置しておく、数週間皮膚の腫れ、皮下出血(青タン)、
痛みが続きます。
治打撲一方を飲むと痛み、腫れ、皮下出血が1週間でかなり引いてきます。

(116) 茯苓飲合半夏厚朴湯 (ぶくりょういんごうはんげこうぼくとう)



胃食道逆流症でお悩みの方に使ってほしい漢方薬です。
逆流があるために、いつも胸のあたりがモヤモヤする、
気持ちが悪い、ゲップが出る等が認められます。
精神的にも沈みがちになります。
プロトンポンプ・インヒビター(PPI)
(ランソプラゾール:商品名タケロンなど)の併用は大丈夫です。

(5) 安中散 (あんちゅうさん)



キリキリと胃が痛む人、神経性胃炎の人などに使います。
市販の〇〇漢方胃腸薬には、ほとんど入っています。
どうせ飲むなら医療用の安中散を飲んだ方が濃度高いし、
お値段も安くすみます。

(3) 乙字湯 (おつじょう)



便秘、痔で困っている人にもってこいです。
お尻の痛みも取れます。
西洋薬の外用薬を塗りながら、乙字湯を内服します。
「キレ痔、イボ痔」という保険適応が通っています。
肛門の痛みだけでなく、かゆみにも用います。

(91) 竹筍温胆湯 (ちくしょうたんとう)



カゼやインフルエンザにかかった後、咳のみが長く残る、
痰が多い時に使います。
あまりにも咳が長く続くと精神的にも不安になりますね。
そういう場面にも有効です。
抗生剤、抗アレルギー薬の併用はOKです。

(25) 桂枝茯苓丸 (けいしぶくりょうがん)



従来は女性ののぼせ、頭痛、月経不順、更年期障害に使う漢方薬です。
これを飲むとホットフラッシュがおさま喜びれます。
桂枝茯苓丸はエキス剤の中で体中をめぐる血液の流れ
(特に微小循環障害)を改善する代表選手です。
皮膚科で難病と言われる尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎、
慢性湿疹などにも有効です。
要は慢性疾患と呼ばれる長期にわたり治療を続けている
病気には、すべて微小循環障害があります。
西洋医学的アプローチでは、症状がうまくコントロールできない時に
桂枝茯苓丸を追加すると、症状が良い方向に動き出すことがあります。
整形外科では治らない原因不明の腰痛が治ることがあります。
痛みを止めたのではなくて、血流を良くしただけです。

小児漢方の本



南山堂から『子ども漢方』診療ノート』が発売になります。
小児に使える漢方処方の基本的な使い方と処方例、
症例を載せてあります。(1/10 完成 1月中旬 発売)

お知らせ

岐阜市の漢方外来予定日 1月25日(土)

時間: 14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市健康東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 1月18日(土)

19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて

休診のお知らせ 1月10日(金)

都合により休診します。よろしくお願いいたします。